



Let's

北の縄文

～北海道の、ロングロングストーリー～



＼ここがすごい！／



5つの魅力

1. 土器にどきどき!土偶にぐー!

2. 自然の中のくらし

3. おしゃれな縄文人

4. 海を越えて大冒険

5. 縄文人のころろ



～北海道の、ロングロングヒストリー。～

様々な文明が生まれては消えていった世界の歴史のなかで
縄文文化は、1万年以上にわたり、
農耕や牧畜ではなく、採集・漁労・狩猟をベースに
定住生活が続いた貴重な文化です。

人々は、厳しくも豊かな自然に向き合いながら、
共生と循環の思想のもと、こころ豊かに暮らしていました。

縄文文化は、日本列島全体に展開されていますが、
北海道と北東北には、たくさんの共通性があり、
津軽海峡を挟んだ交流が盛んだったことがわかっています。

縄文の人々は、何を考え、どのような暮らしをしていたのでしょうか。
さあ、一緒に北の縄文をひもといてみましょう。

道内各地の縄文キャラクターが 紹介してくれるよ!



- **「どぐう館長」**
- 函館市縄文文化
交流センターの
キャラクター。
- 「カックウ」を模して
います。

縄文時代はどのくらい前なのか、年表で比較してみよう! 北海道には本州とも異なる独自の文化があったんだ!

		15,000年前	11,000年前	7,000年前	5,000年前	4,000年前	3,000年前	2,300年前	1,400年前	1,200年前		
日本	旧石器時代	縄文時代						弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	平安時代	鎌倉時代
		北海道		縄文時代				続縄文文化期		擦文文化期		アイヌ文化期
		草創期	早期	前期	中期	後期	晩期		オホーツク文化	トドナイ文化		
西欧	旧石器時代	中石器時代	新石器時代	青銅器時代		鉄器時代	ローマ帝国					

中国文明の始まり
メソポタミア文明の始まり

インダス文明の始まり
クフ王ピラミッド建設

エジプトの
ツタンカーメン王即位



未来へつづく、一万年ストーリー。

北の縄文

このロゴマークは、北海道の縄文文化の魅力や価値を広く発信するためのキャッチフレーズ「未来へつづく、一万年ストーリー。」を表現したものです。

“North”(北)の頭文字である“N”と北海道のシルエットをかたどっており、マークの緑色は、縄文時代の人々が、豊かな自然の中で暮らしたことや、活発に交流していた証となるヒスイをイメージしています。



土器にどきどき!

縄文土器は、様々な縄目の紋様が付けられ、その美しさと高い技術が評価されています。土器の発明により、食物の煮炊きが可能になりました。



様々な形の土器 / 恵庭市



人形装飾付異形注口土器 / 北斗市



四脚付浅鉢形土器 / 鶴居村



漆塗り注口土器 / 函館市



深鉢土器 / 函館市



香炉形注口土器 / 余市町



徳利形土器 / 余市町



赤彩注口土器 / 八雲町

どきどきするわあ~!



「赤ブタちゃん」
(公財)北海道埋蔵文化財
センターのキャラクター。
赤彩注口土器がモデル。
常に目をつむりつぶやく
理想家タイプ。

ここが面白い!

土器の
紋様から...



落とし穴でシカを捕ったことがわかる!

新潟からは
こんな土器も
でているよ!

かえんかげどき
火焰型土器とも
呼ばれています。

新潟県笹山遺跡出土
深鉢形土器(国宝)



土偶にぐ〜!



「フクロウ博士」
 (公財)北海道埋蔵文化財センターのキャラクター。縄文時代と埋蔵文化財に詳しく、自らを博士と呼ぶ。

土偶には、乳房や妊婦の姿が表現されているものも多く、命の誕生や再生、豊かな恵みへの願いが込められています。祈りや祭りの道具として使われていました。

人の形さまざま



江別市



苫小牧市



室蘭市



札幌市



千歳市



帯広市



函館市



根室市

「初田しゅう」
 根室市のキャラクター。
 初田牛の土偶をモチーフにした「どぐう女子」。



動物コーナー



?

シャチ



函館市

イカ



森町

「ビビちゃん」
 (公財)北海道埋蔵文化財センターのキャラクター。
 鳥か海獣か謎である。千歳市の動物形土製品がモデル。

グッときたっ!



千歳市



(福島町)

岩偶(がんこう)

凝灰岩(ぎょうかいがん)でつくられています。長さが37.1cmで、身体表現とみられる線が刻まれています。

角偶(かくこう)

シカ角でつくられています。長さが5.6cmで、精霊などを表現したものと考えられています。



(函館市)

北海道唯一の国宝 土偶「中空土偶」(ちゅうくうどぐう)

カックウ 徹底解剖!

カックウのプロフィール

- ・年齢 約3,500歳
- ・身長 41.5cm
- ・体重 1,745g
- ・出身地 函館市南茅部地区
- ・現住所 函館市白尻町
函館市縄文文化交流センター
- ・愛称 出身地南茅部の「茅(カヤ)」と中空土偶の「空(クウ)」をあわせて「カックウ」と呼ばれています。

カックウの特徴

- ・日本の土偶では最大級!
- ・頭の左右には大きな穴があいています。
- ・体の表面がきれいに磨かれています。
- ・あごには髭があります。
- ・両腕は故意に壊されたと考えられています。
- ・背中にも立派な模様がついています。
- ・体内は空洞です。
- ・お腹の縦線は妊娠線と言われています。
- ・両足の間に穴があけられています。
- ・当時は赤や黒の漆が塗られていたようです。今も表面の所々に残っています。

これはわたしです。



カックウのひ・み・つイモ畑で発見!

昭和50年に、地元の主婦がジャガイモを掘ろうとクワを下ろしたところ、何かがガツンと大当たり!掘り出されたのがカックウでした。

CTで
検査
しました



カックウの診察券



国宝に
なっている
土偶たち!



国宝 土偶
合掌土偶(青森県)



国宝 土偶
縄文の女神(山形県)



国宝 土偶
仮面の女神(長野県)



国宝 土偶
縄文のビーナス(長野県)



おしゃれな 縄文人

縄文の人々は、粘土・石・木・貝・骨などでつくったアクセサリー（装身具）を身につけていました。これらは、単なるおしゃれではなくお守りや指導者の権威の象徴、成人の証などでもあったようです。

鹿角製ヘアピン／釧路市

頭に
キラッ★



ひすい装飾品／礼文町



漆塗り髪飾り輪／恵庭市

土製耳飾り／千歳市



目元に
キラッ★



漆塗り櫛／恵庭市

デザイン
豊富～!



ときめくわ～!

石製けつ状耳飾り／千歳市



発掘直後の漆塗り櫛／小樽市

胸元に
キラッ★



石製の首飾り／恵庭市



「かりんちゃん」

恵庭市のキャラクター。
すずらの妖精で
朱色の漆の櫛が
チャームポイント。

「じよんちゃん」
(公財)北海道埋蔵文化財
センターのキャラクター。
縄文時代のおしゃれ少女。
縄文時代の最先端
ファッションを
身につけて
キメている。

漆塗りの櫛、輪、額飾り、耳飾り、緑泥石岩(りよくていせきがん)の勾玉(まがたま)、琥珀玉(こはくだま)の首飾りなどが出土しています。



墓から出土した装身具／恵庭市

ひすいの首飾り／函館市





自然の中のくらし

縄文の人々は定住し、森・川・海で狩り・漁・採集を行っていました。貝塚や住居の炉跡などから出土したもののからどんなものを食べていたのかがわかります。

狩り

鳥、アザラシ、シカなどの獣を弓矢や銚（もり）、落とし穴などによって捕まえていました。縄文の人々が狩りの対象としたシカなどの大型ほ乳類は、貴重なエネルギー源であるとともに、骨、角、皮は道具や衣服の素材として利用されました。



貝塚から発見されたシカの骨／函館市

イヌも狩りのお手伝い!



縄文時代にはイヌが飼われ、狩りの時に動物を追い込むなどのお手伝いをしていました。大切に埋葬されたことがわかるイヌのお墓が出土している例もあります。

漁

石のおもりを付けた網や、シカの骨や角製の釣り針などを用いて、マグロ、ホッケ、ニシンなどを捕らえていました。川に上ったサケは、杭や柵を組み合わせたワナなどを用いて捕まえていたようです。



釣り針／洞爺湖町



縄文時代に食べられていた魚
「漁業生物図鑑 新 北のさかなたち」から引用



石のおもりが付いた網（復元）

採集

栄養分が多く、保存しやすいクリ、クルミ、ドングリなどの木の实や、ハマグリ、アサリ、ホタテなどの貝を採集していました。トチやドングリなどのアクを抜く技術や保存方法も習得していたようです。



住居跡から発見されたクリ／函館市

縄文の人々は、一体どのような味付けをしていたのでしょうか。遺跡からは、シソ、サンショウなどが見つかり、当時は色々な味付けを楽しんでいたようです。

縄文クッキング



住まい



当時の集落の様子 イメージ図



当時の住居内の様子 イメージ図

縄文の人々は、「竪穴(たてあな)住居」に住んでいました。

住居の中には、炉(ろ)があり火をたいて暖まっていたと考えられています。



発掘された竪穴住居跡
函館市



復元された竪穴住居
洞爺湖町

「竪穴住居」は、地面に穴を掘ってつくった建物です。屋根の材料は、草や小枝、木の皮、土などが使われていました。「竪穴住居」のそばには、食料を貯めた貯蔵穴(ちょぞうけつ)、お墓などもありました。

地域でちがう
食べ物

貝塚

貝塚とは、食料とした貝の殻や、獣や魚の骨、破損した土器や石器、骨角器などを捨てたところです。人のお墓も見つかることから、全ての生命に感謝し、再生を願う儀式を行う場でもあったようです。

縄文の人々は森、川、海の恵みを活かして生活していたので、食料は地域によって異っていました。本州では海の近くの遺跡でも7~8割は陸上の動物や植物を食べており、特に植物を多く食べていました。一方で北海道では、魚やトドやアザラシといった海産物を多く食べていました。

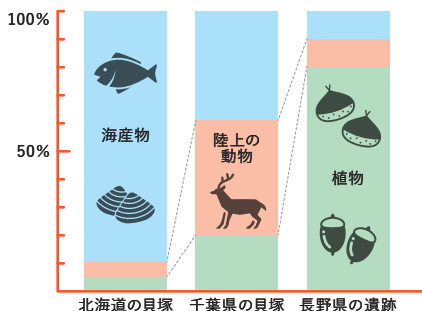


復元された貝塚
伊達市



「オコンシベくん」

伊達市のキャラクター。
縄文時代に北黄金貝塚に住んでいた男の子。





海を越えて 大冒険

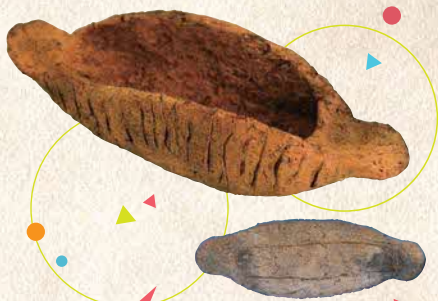
縄文時代には、ヒト・モノ・情報が
海を渡って大きく動いていました。

縄文時代に アスファルトが!?

アスファルトは、道路の舗装などに用いられていますが、その粘着性や耐水性から、当時は矢じりを矢に固定したり、破損した土器や土偶の補修などに利用していました。

土器の中に入った状態や、塊の状態で出土するものもあります。

アスファルトは、石油が埋蔵されている地域で産出され、函館市から出土したものは、分析の結果、秋田県産のものとなりました。



舟をかたどったとされる
土製品／函館市

縄文の人々は、舟で海を活発に往来していたと考えられています。

ひすいの玉類／千歳市

新潟県産のひすいを用いてつくられた玉類は、礼文島やオホーツク海沿岸の遺跡からも発見されています。



北海道産の黒曜石で作られた石器は、青森県でも見つかっています。

アスファルトが入った
土器／函館市



北海道産の黒曜石／
赤井川村・遠軽町

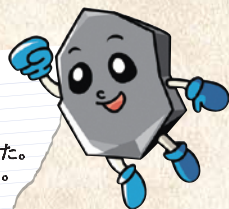


アオトラ石／平取町

日高地方の平取町額平川の上流でとれるアオトラ石は、石斧に加工されて、遠くは神奈川県まで運ばれていました。

「アンジ君」

- 白滝ジオパークのキャラクター。
- 黒曜石から生まれました。
- 好奇心一杯!旅行好き。





縄文人のこころ

縄文後期のはじめ頃(約4,000年前)から石を環状に並べた環状列石(ストーンサークル)が築かれ、様々な儀式が行われたり、お墓がつくられたりするようになりました。



環状列石 / 知内町

環状列石からは、土器や石器などの道具や装身具が出土することがあります。



「ママチくん」
千歳市文化財キャラクター。
千歳市遺跡のお墓の上
から見つかった土面。

縄文の人々は、役目を終えたすり石や石皿などの石器に感謝し、再生の願いをこめた儀礼を水場で行いました。



水場の祭祀場 / 伊達市



周堤墓 / 千歳市

周堤墓とは、縄文の人々の共同墓地です。円形の大きな竖穴を掘り、その掘った土を周囲にドーナツ状に盛り上げてつくられています。



周堤墓から出土した土器や石棒等 / 斜里町

土器や石器は、死者が生前
用いたものや埋葬する時の儀式に
使われたものと考えられます。

「ドグー」
旭川市のキャラクター。
旭川市博物館の
カゲの学芸員でアイドル。
縄文生まれ(心は10歳)。



子どもへの愛…

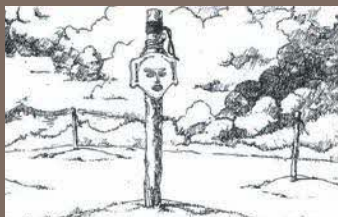
縄文早期の終わり頃(約6,500年前)の遺跡から、子どもの手や足を粘土板に押しつけて形を写し取った土製品が出土することがあります。これらの土製品には、紐を通す穴があいており、吊り下げて使われたと考えられます。



大人のお墓から出土することから、亡くなった子どもの形見として、親がその足形を粘土板に写し取り、親が亡くなった時に副葬したとする説があります。また、子どもの成長や健康を願って作られたと考える研究者もいます。子どもを大切に思う親の気持ちは、昔も今も変わらないようです。

永遠の謎 ママチ仮面

ママチ遺跡(千歳市)から出土した仮面は、縄文晩期の終わり頃(約2,300年前)につくられた土製品で、縄文人の顔立ちがよく表現され、飾りつけ用の穴や顔に装着するための紐を通す穴があいています。



墓標に付けられた土面の想定図 長沼孝原図

(財)北海道埋蔵文化財センター
1987「千歳市ママチ遺跡Ⅲ」より引用

仮面はお墓の上から見つかりました。埋葬の時に用いられ、墓標に付けられていたものが落下したのでしょうか。北アジアやアラスカの仮面をもつ文化との関連も考えられています。

1

ころころぺたぺた

紋様の
お話だよ!

一般的に、縄文土器は表面に紋様が付いています。紋様の中で最も多いのは、植物の繊維などを撚(よ)った紐をころがした縄の紋様で、紐の太さや撚り方の違いなどで様々な紋様ができます。ニシンやサケの背骨や花のついたオオバコの茎、貝殻の縁、シカの骨、刻みを付けた木片など、身近にある動物や植物などを素材にして紋様を付けていました。



2

縄文顔と弥生顔

「縄文人」と「弥生人」、それぞれの顔つきが、現在の私たちの中に生きています。あなたはどちらに近いでしょうか？



縄文顔の特徴

四角く彫りの深い
引き締まった顔
二重まぶた



弥生顔の特徴

面長で平坦な顔
一重まぶた

※縄文顔と弥生顔の復元想像図 石井礼子

3

高速道路の上には...

森町にある鷺ノ木遺跡は、道内で一番大きな環状列石(ストーンサークル)です。30~40cmの大きさの石を約600個も使用しており、1kmほど離れた近くの川から運んできたことがわかっています。

5m離れた場所にお墓が見つかったので、ここは儀式をする場所だったようです。

この環状列石は、高速道路の建設中に発見されました。その後、遺跡を保存するため、遺跡の下を高速道路が通過するように、特別な工法でトンネルがつけられました。



高速道路の下にトンネルをつくる工事の様子

駒ヶ岳を望む鷺ノ木遺跡全体の様子 / 森町

実寸大解

北海道観光PRキャラクター
キョんちゃん北の縄文ver
北海道の観光をPRしてくれる
キャラクター。縄文時代の
アクセサリやカックウの
模様とおそろいの
服を身につけて、
北の縄文の魅力
を伝えてくれる。

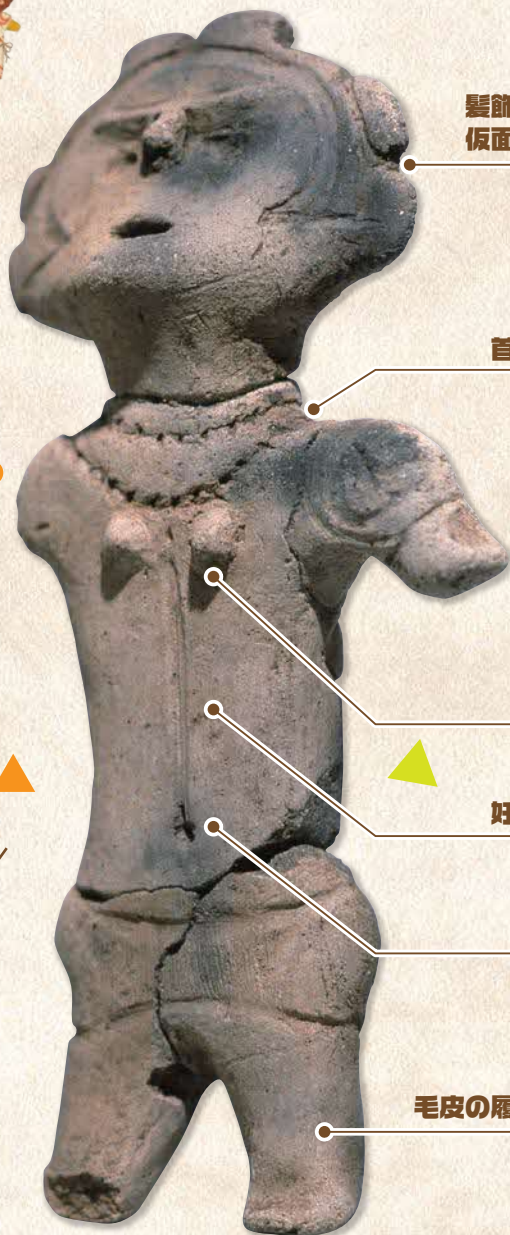
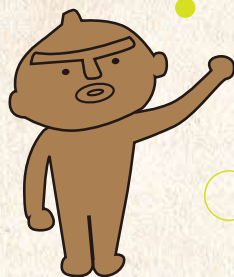


土偶 (木古内町)

プロフィール

- ・年齢 約2,500歳
- ・身長 16cm
- ・体重 137.4g
- ・出身地 木古内町
新道4遺跡

5ページのカックウ
とも比べてみよう!



髪飾りと
仮面の線

首飾り

16
cm

乳房

妊娠線

ハソ

毛皮の履き物

説コーナー



ウリ坊

(こどものイノシシ)

プロフィール

- ・体長 5.8cm
- ・高さ 4cm
- ・出土 函館市
日ノ浜4遺跡

道内の縄文遺跡から、生息していないイノシシの骨や牙製品、ウリ坊の形をした土製品が出土しています。縄文の人々が東北から舟でイノシシを運び、飼育していたのかもしれません。

**細い鼻先と
体のしましま
模様が特徴!**



4 cm

5.8 cm

アクセサリー

耳に穴を開けてつける、ピアスのようなものです。形や材料、大きさ、デザインもさまざま!



4.5 cm

(恵庭市柏木B遺跡)

じせん 耳栓

- ・土でできている
- ・細かい模様が入っている
- ・大きいものは直径10cm以上!
- ・側面をへこませているから目からはずれにくい!



1.6 cm

斜めから!



4.6 cm

(福島町館崎遺跡)

6.7 cm

けつじょうみかざり 玦状耳飾

- ・キメの細かい石を磨いてつやつや
- ・丸形から三角形にモデルチェンジ(この写真は三角形)
- ・切れ目は糸で引き切ったり、石器ですり切ったりしてつくった

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、 2021年に世界文化遺産に登録されました。



北海道では、青森県・岩手県・秋田県及び関係市町と連携・協力して、縄文遺跡群の保存と活用に取り組んでいます。

道内の構成資産



キウス周堤墓群(千歳市)



入江・高砂貝塚(洞爺湖町)



北黄金貝塚(伊達市)



垣ノ島遺跡(函館市)



大船遺跡(函館市)



鷺ノ木遺跡(森町)※関連資産

／ もっと知りたいあなたにおすすめ! ／



北海道・北東北の
縄文遺跡群

<https://jomon-japan.jp>



キッズサイト
JOMONぐるぐる
<https://jomon-japan.jp/kids>



北海道庁
縄文世界遺産推進室
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon>

縄文遺跡群 ロゴマーク



全体を縄文土器に見立て、北海道と北東北の形を、縄文時代のパワーを象徴するような渦巻きの形で繋いでいます。「JAPAN」には「漆」の意味もあります。

資料提供(順不同・敬称略)

国立歴史民俗博物館、東京国立博物館、山形県立博物館、茅野市尖石縄文考古館、十日町市博物館、是川縄文館、青森県教育庁文化財保護課、函館市教育委員会、森町教育委員会、八雲町教育委員会、洞爺湖町教育委員会、伊達市教育委員会、余市町教育委員会、平取町教育委員会、礼文町教育委員会、北海道博物館、札幌市埋蔵文化財センター、旭川市博物館、釧路市立博物館、帯広百年記念館、千歳市埋蔵文化財センター、恵庭市郷土資料館、江別市郷土資料館、苫小牧市美術博物館、函館市縄文文化交流センター、市立函館博物館、根室市歴史と自然の資料館、白滝ジオパーク推進協議会、(公財)北海道埋蔵文化財センター、(地独)北海道立総合研究機構、東日本高速道路(株)北海道支社室蘭管理事務所、札幌国際大学縄文世界遺産研究室、HBCフレックス、JOMON ARCHIVES

発行/北海道庁 環境生活部文化局文化振興課 縄文世界遺産推進室
札幌市中央区北3条西6丁目 TEL:011-231-4111

令和4年(2022年)2月発行